

がん性疼痛看護認定看護師

1. がんの痛みのある患者さんの全人的苦痛を和らげ、療養生活に関する困りごとを解決できるよう共に考え、その人らしい生活が送れるように支援します。
2. WHOがん疼痛治療法に基づく痛みの治療と看護を実践します。
3. 医療用麻薬についての正しい知識と使い方を説明します。
4. 患者さんやご家族が自分でできる痛みの緩和方法をお教えします。
5. 看護師や看護学生へのがんの痛みの治療と看護に関する教育を行います。
6. がんの痛みの治療や看護に関する相談を受け、より良い治療と看護が出来るようサポートします。

◆私たちはこんな活動をしています◆

■実践

がん看護コアナース(リンクナース)の活動支援

■指導

東海大学看護師キャリア支援センター「がん性疼痛看護」講師

東海大学キャリア支援センターオープンセミナー「事例で考えるがんの疼痛マネジメント」
講師

神奈川県単位型緩和ケア研修会ファシリテーター

■相談

医療用麻薬の適正使用について

医療用麻薬の副作用対策について

塚田 美智子

「この痛みさえなければ」と苦しむ患者さんにかかわる中で、「どうしてこんなに痛みが和らがないのか？もっとがんの痛みを系統的に学んで、がん患者さんの痛みを少しでも和らげられるような看護をしたい！」という思いから認定看護師になりました。外来患者さんにとって、毎日の生活や通院・治療にも大きく影響するがんの痛みを緩和することはとても大切ですし、多くの方が不安を抱えています。こうした不安を少しでも和らげ、日常生活の中での痛みを緩和するにはどうしたら良いか？患者さんやご家族からお話を伺い、一緒に考え、医師とも相談しながら、痛みを和らげることが出来るよう頑張っています。

堂園 幸子

がん性疼痛看護認定看護師として緩和ケアチームで活動しながら、スキルアップのためにがん看護専門看護師の認定を受けました。緩和ケアチームでは、がん患者さんやご家族の苦痛緩和に重点を置いた看護を実践してきました。現在はその経験を活かし、がん相談支援センターで患者さんとご家族の治療や療養上の不安、困りごとの相談に応じています。がんと共に生きる時代と言われますが、そこにはたくさんの不安や悩みがあります。患者さんやご家族の不安や悩みを聴き、時には一緒に重荷を背負ったり、力づけたり、また様々な局面の意思決定を支えたり、がんと共に生きていくことの少しの支えになればと思っています。